

喜田議員 みなさん、おはようございます。2022年も残すところ、半月ばかりとなりました。今年もスタートから年末まで、コロナ禍の影響を大きく受けた年となってしまいました。来年こそは、禍がない良い年となりますことを願ひまして、質問に移らせていただきます。それでは、事前に通告していましたが、次の2点について、ご質問させていただきます。まず最初に「漁業者・農業者への支援強化を求める」についてお伺いします。長引くコロナ禍により、経済が落ち込んでいるうえ、円高の進行、そして燃料価格の高騰や、生活必需品の値上げなど、明るい兆しが見えない状況です。牟岐町で暮らす、たくさんの方や、様々な業種の方々にも、これらの影響が出ています。本町では、これらへの対策として、低迷する消費活動を喚起し、地域振興と経済の活性化を図る目的で、牟岐応援チケット事業や、牟岐応援宿泊助成事業などのキャンペーンを行っており、ある程度の効果も出ているようです。しかしながら、本町の主とする産業の漁業者や農業者の方々におきましては、資材価格の上昇やランニングコストの上昇、漁獲高や収穫量の減少、そして販売価格の低下など、事業継続が非常に厳しい状況に置かれています。牟岐町自体の高齢化率が高く、一次産業に携わる方々の年齢も上がってきており、新規事業などに取り組むことも簡単にはできない状況で、現状維持どころか、廃業を考えなければならないとの声も聞かれます。これらの状況を踏まえ、一次産業への支援をもっと手厚く行い、守っていく必要があるのではないかと考えます。現在、物価高騰、緊急対策事業としての支援が行われていますが、当事者の声としましては、現状はかなり厳しい状況にあるようです。このような状況では、新たな就労者どころか、今後、事業を承継される方々の意欲の妨げとなってしまいます。そして、現在の町単独の力には限界があり、支援や対策が追い付かないことも懸念されます。先日、漁業者の担い手育成や、水産資源の持続的利用などの重点施策を盛り込んだ「とくしま水産創生ビジョン」が、県の検討委員会により開かれました。とくしま漁業アカデミーの充実や、養殖藻類の食害防止などが重点施策として、取り組まれるようです。このように、徳島県でも次世代につなぐ水産資源と漁場づくりや、新しい担い手の確保に向けた施策や、事業承継など、前向きに推進させようとしていることから、本町の漁業者、そして、農業者を守るためにも、今後はもっと強力に、県への支援や補助の要請を行う必要があると強く求めますが、これらのことについて、ご見解をお聞かせください。それでは、次に、「旧船戸荘の利活用について」お伺いします。数年前に牟岐町に寄付され、現在、町が管理を行っている、旧船戸荘についてですが、令和2年度には、徳島大学の建築サークルAUTの大学生が、空き家活用現地研修において、建築士会や建築事業者の方々と連携し、改修事業を一部完成させたとのことで、私たちも視察に行かせていただきました。その

後の情報では、未だ建物全体の改修までは行われていないと聞いていますが、可能でしたら早めに全館の改修を行い、利活用することをお勧めします。建築サークルの指導に携わる業者の方からは、限られた活動時間の中ではありますが、指導を通じて建物の改修を完成させることの大切さや、完成後の達成感も学んで欲しいとの声も聞かれます。コロナ禍ということもあり、積極的な交流の場を設けることは難しいのですが、現在の徳島大学建築サークルAUTの研修の場としての利用だけでなく、改修後には、牟岐町に関係している、複数の大学生同士の交流が図れるような、スペースとして利用したり、宿泊できるようなことが可能でしたら、これについてもご検討をいただき若者が集えるような場所として活用していただきたいと考えます。また後には、いろいろな団体や町民の皆さんも、利用ができるような施設への利活用の提案を行いたいと思いますが、この施設において、今後のご見解をお聞かせください。よろしく申し上げます。

一山議長 枘富町長。

(枘富町長 登壇)

枘富町長 喜田議員のご質問の「漁業者・農業者への支援強化を強く求める」についてのご質問にお答えします。コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を、地域の実情に応じ、きめ細やかに実施できるよう、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が創設されました。これを受けまして、牟岐町におきましても生活者支援に関する事業としまして、学校給食食材代補助事業と事業者支援に関する事業としまして、農業者・林業者・漁業者・商工事業者支援事業及びプレミアム商品券事業を実施してまいりました。令和4年11月末現在の各支援者事業の実施状況ですが、農業者支援事業につきましては、76件、43万4,493円、漁業者支援事業につきましては、18件、80万3,418円、林業者支援事業につきましては、1件、2万830円、商工事業者支援事業につきましては、121件、855万3,082円、合計981万1,823円の補助金を交付してまいりました。また、国におきましては、農業者支援としまして肥料価格高騰対策を、県におきましては農業者支援としまして肥料価格高騰対策、漁業者支援としまして漁業用燃油価格高騰緊急対策事業を、中小・小規模事業者・個人事業者の皆様には徳島県物価高騰対策応援金の支援金制度をそれぞれ実施していると聞いています。今後、牟岐町単独では事業実施が困難なことが

考えられますので、国、県、農協、森林組合、漁協、商工会など各関係団体と情報共有や連携を取りながら事業者支援などに取り組みたいと考えています。旧船戸荘の利活用につきましては、産業課長より答弁させていただきます。よろしく申し上げます。

一山議長 久産業課長。

(久産業課長 登壇)

久産業課長 「旧船戸荘の利活用について」のご質問にお答えします。牟岐町に寄付された牟岐町中村字大戸45番地1、45番地2、46番地1、46番地2にある建物や土地利用に関しまして本格的に利用していくにあたり設置管理条例が必要となったため、大戸多目的交流広場設置及び管理に関する条例を制定しました。CAN・SO(旧船戸荘北側の土間コンクリートスペース)については徳島大学建築サークルの学生により、現物フィールドとして利用しています。また、CAN・SO(旧船戸荘北側の土間コンクリートスペース)以外の利用につきましては、耐震改修が必要で多額の費用が必要です。引き続き、県南キャンパス事業や森林環境譲与税などを活用しながら、かいふの木の家やシラタマ学級と連携して、地元小中学生へのものづくり体験や木工教室などを実施し、ヒトとの交流を深める予定です。また、同敷地内に、ジビエ処理加工施設が建設されています。建物以外のスペースについては、マリンレジャー事業者と連携して、海を利用したSUP、釣り、キャンプなど複合的なアウトドアができる場所として使用料金を徴収しながら利用を模索していきたいと考えています。

一山議長 喜田議員。

喜田議員 ご答弁いただき、ありがとうございます。「漁業従事者や農業の従事者」など、一次産業におきましては、今も非常に厳しい状況ですので、早急に対策を行っていただきたく願います。田舎の町の力には限界があります。今後も継続的に要望を行っていくことが大切だと思います。私も、微力ではありますが、お手伝いできることがあれば、積極的に取り組みたいと思っていますので、今後ともよろしく申し上げます。旧船戸荘につきましては、コロナ禍とも上手に付き合いながら、今後も積極的な企画や活動に取り組んでいただき、大学生や関係人口で賑わい、活気で溢れるような利活用が行われることを希望しまして、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

ました。